## 史編さんの窓 (38)

# 亀田鵬斎の来遊

江戸時代、新津に来遊した諸国の文人は少なくありません。有名な人を少しあげてみても、寛保二年（一七四二）に蘆元坊（美濃の俳人、美濃派の総帥）、宝暦十年（一七六〇）に長久保赤水（水戸の地理学者）、文化六年（一八〇九）に山本四庵（伊勢の儒者、漢詩人）、同七年に亀田鵬斎（江戸の儒者、漢詩人）、天保十一年（一八四〇）と嘉永元年（一八四八）に飯塚久利（上野の国学者）、そして天保十四年以降数回にわたって鈴木重胤（淡路の国学者）などが来ています。このうち、長久保赤水と山本四庵は、越後七不思議のひとつの柄目木の火井を見学するために来た通過客でしたが、他の人たちは新津の学芸に大きな影響を与えました。ここでは、亀田鵬斎について少し述べてみます。

江戸の大儒亀田鵬斎は、文化六年の九月初めに信州から越後に入り、同八年七月、再び信州へ出るまでの約二年間、越後と佐渡に滞在し、大きな文化的感化を及ぼしました。鵬斎は井上金峨門の折衷学者で、著述も多くあります。江戸駿河台に家塾育英堂を開いていましたが、寛政二年（一七九〇）に朱子学維持の諭達（いわゆる寛政異学の禁）が出されてからは、あまり振るわなくなりました。

鵬斎は文化七年の九月から十二月にかけて新潟・水原・新津・田上・加茂と歩いたようです。水原では中村南溟宅に、また田上では酒井家に滞在しました。酒井家の梅園の扁額「澹月幽香」は文化八年二月となっていますが、燕の神保杏村宅で越年していますので、あとで書き送ったものでしょう。

さて、新津では十月に幸清水の碑文を書き、十一月に万巻楼記と堀出神社の碑文を書いています。幸清水は文化四年四月に新津町の庄屋長井久左衛門が田家村庄屋の吉沢九平太と相談して秋葉山の麓を掘って清泉を得、町民に開放したものです。写真はその碑文の原稿で、南蒲原郡栄町の某氏が所蔵しています。

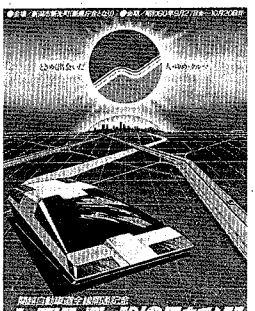
万巻楼は桂家の書庫名で、四代の誉章が宝暦のころから収集しだしたものです。鵬斎の万巻楼記には、文化七年十一月に書いたものと十二月に書いたものとの二種類があり、前者は新津郷土誌第十一号に、後者は新津市誌に翻字されています。万巻の蔵書を持った好学の六代誉正の家は、鵬斎にとって居心地が良かったと思います。鵬斎の養子綾瀛の手紙が桂家に残されていますので、鵬斎の後まで交際していたのです。

幸清水碑文の原稿

## トランスポ'85入場券

| 区　　分 | 前　売 | 当　日 |
|---|---|---|
| 大　　人 | 1,000円 | 1,300円 |
| 高 校 生 | 700円 | 1,000円 |
| 小・中学生 | 500円 | 700円 |
| 幼　　児（4歳以上） | 200円 | 300円 |

## 関越自動車道全線開通記念 トランスポ'85新潟




関越自動車道が今秋に全線開通し、本格的な高速交通時代が到来します。そこで、これを機会に交通面にスポットを当て、「人とくるまの調和を求めて」をテーマに、「トランスポ'85新潟」が開かれます。伸びゆく新潟の将来を展望し、その発展のあり方を考えるイベントです。ご家族おそろいで、ぜひお出かけください。

□**会期**…九月二十七日～十月二十日の午前九時～午後五時

□**会場**…新潟市新光町（新県庁舎となり）

なお、展示が予定されている主なものは次のとおりです。

♥**くらしと交通館**…私たちの生活、文化、社会などの変化と交通の変遷とのかかわりを探り、高速交通時代に突入した新潟の明日を考えるテーマ館です。

♥**映像館**…「くらしと交通館」の内容を社会的な背景や利用技術を含め、わかりやすく、また興味深く解説する映像ホールです。

♥**くるま館**…今日の交通を支えている自動車の過去から未来の姿を展示します。

このほか、トライアル広場やモーターランドもあります。

## 入場前売券は市の窓口にも

入場券の種類は上の表のとおりで、市の窓口でも前売入場券の取り扱いを行っています。ご希望の方は、次の窓口でお求めください。

□**前売入場券販売窓口**…市役所市民課窓口、企画室、商工観光課、中央公民館、荻川地区公民館、図書館

お買物、ご用命は市内で

耳鼻咽喉科　坂爪医院
〈診療時間〉
平日　午前7:30～12:00　午後2:30～6:00
土曜　午前7:30～12:00　午後1:00～3:00
新津駅前通（英進堂トナリ）TEL(24)5588

朝9時30分までの受付は当日上り
高級衣類のお手入れは……
マルヤクリーニング　持込2～3割引　☎22-0739
正しいクリーニングと保存は
衣類の本当の節約